区のお知らせ

足立区
企画室
☎(882)1111

人口調べ
（昭和43年11月1日現在）

世帯	165,183
男	278,095
女	265,029
計	543,124

（前月より973人増加）

福祉相談
日曜・祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで、ただし土曜日は正午。足立・中部・東部福祉事務所で、生活保護、保育所申し込み受け付け、身体障害者福祉、精神薄弱者福祉、老人福祉などの相談にのります。

十二月一日から五つの町誕生

北鹿浜・北堀之内・保木間・東加平 地区に住居表示実施

住所変更手続をお忘れなく

本年十二月一日から、第十五次の住居表示が実施され、次の五かところに新しい町名・町区域が誕生します（地図をご覧ください）。

今回の実施面積は次のとおり。（単位は平方キロメートル）

◇保木間一丁目〇・一八　保木間二丁目〇・一三　◇綾瀬七丁目〇・一四　◇加平一丁目〇・一六　加平二丁目〇・一五　加平三丁目〇・一二　◇堀之内二丁目〇・一二　◇堀之内三丁目〇・一一　◇鹿浜一丁目〇・一七　鹿浜二丁目〇・三七　鹿浜三丁目〇・二五　鹿浜四丁目〇・二六　鹿浜五丁目〇・二四　合計二・四九。

現在の住居表示実施予定面積（市街地）は、三〇・七六平方キロメートルあり、区の総面積五三・二五平方キロメートルに対する割合は、五七・七六パーセントとなっています。そして、住居表示実施予定面積に対する実施済面積は今回の分をいれますと、二二・三七平方キロメートルで、七二・三九パーセントに、また、区の総面積に対する割合は、四一・八パーセントとなりました。

住所変更届を

住居表示の実施された区域では、通信・訪問の便がたいへん良くなります。しかし、それを早く多くのかたに知らせなければなりません。そこで、官公署の公簿（区役所の戸籍簿・住民基本台帳・印鑑簿・選挙人名簿・国保・年金台帳、税務署・都税事務所などの各種台帳など）は、役所で書きかえますが、次のような場合は、本人がその手続きを行なってください。

①登記所の不動産物件の所有者名義人などの住所（登記所）、②自動車検査証（陸運事務所）、③運転免許証（所管の警察署）、④外国人登録証（区役所）、⑤国保・年金加入者証（区役所）などの場合①～③までは、「住居表示変更証明書」（住居表示課または所管の出張所で無料発行）が必要です。

無料ハガキを配布

新しい住所を知人や取引先などへ知らせるため、一世帯二十枚の無料ハガキをさしあげます（大量に欲しいかたは、郵便局へ本局へお問い合わせください）。

新築したときは

家を新築したり、改築したりしたときは、忘れずに区役所住居表示課へお届けください。新しい住居番号をおつけします。

番地を使う特例

新しい住居表示が実施されても土地・家屋の不動産の表示、および戸籍の表示は、町名だけが新しいものとなり、番地はそれまで使っていたままで変わりません。これは、住居表示の番号を、これらのものにつけても意味がなく、かえって混乱するのを防ぐためです。住居表示についてのくわしいことは、住居表示課へおたずねください。

清い票明るい政治の出発点

明るく正しい選挙標語の入選決る

第五回明るく正しい選挙標語を先般募集しましたところ、多くの皆さんからご応募いただきました。この審査会が、十月二十二日区選挙管理委員会によって開かれ応募作品二九三点のうちから、次のものが選ばれました。（敬称略）

〔一位〕「清い票明るい政治の出発点」富田松五郎（中央本町一丁目五―三三）

〔二位〕「一票が正しく生きて国伸びる」小林正一（島根四丁目二―一〇）、「一票が土台となって町づくり」佐藤進（興野町三三―一）。このほか佳作として、十点の作品が選ばれました。

入選されたかたには、後日、賞状と記念品をお贈りします。

十二月二日まで

選挙人名簿の追加登録

選挙管理委員会では、選挙人名簿の追加登録を行なっています。今回は、十二月二日までに申し出のあった分について、名簿を作成しますので、それまでに、年齢満二十歳になったかたは、特に登録もれのないようご注意ください。

申し出先は、区役所内選挙管理委員会、または区役所出張所。

交通安全区民のつどい

十月十九日（土）午後一時から秋の交通安全運動旬間のしめくくり、「交通安全区民のつどい」が区産業振興館で行なわれ、日ごろから区内の交通安全に活躍されているかた（団体四十六・個人五十名）が区長から表彰をお受けになりました。この写真さしあげます。ご希望のかたは、企画室広報まで。

幼稚園児募集

区立関屋幼稚園では、来年四月に入園する園児を募集しています。申し込み資格は、昭和三十八年四月二日～三十九年四月一日に生まれたこども。申し込み期限は十一月九日（土）まで。申し込み先は区教育委員会学務課学事係または区立関屋幼稚園（千住関屋町十六―一）、八八八―三五八九。くわしくは、学事係または関屋幼稚園へおたずねください。

ねずみ退治は今がチャンス

これから寒さに向かって、ねずみも天じょう裏や台所に多くはいってきます。ねずみはチフスなどの伝染病を媒介したり、赤ちゃんにもかみついたりします。ねずみ退治は、これからがチャンス。区では巡回班をくりだして、みなさんの地域を回り、町会、自治会とご利用ください。ご指導します。どうぞ協力して、くわしくは、区民課保健衛生係へおたずねください。

働く若い女性の講座

日ごろ忙しく働いている若い女性のために、潤いのある生活をと、教養を高める講座を開きます。内容は、男女の交際やくらしの心の得などについて、専門の先生がたがお話になります。主催は、区と区社会福祉協議会。

◇十一月二十九日（金）午後六時～八時「男女の交際について」講師　医学博士　奈良林　祥氏

◇十一月三十日（土）午後六時～八時「余暇の利用について」講師　日本女子大学助教授　吉沢英子氏

◇十二月一日（日）午前七時四十分～午後五時「レクリエーション・オリンピック施設めぐり」レクリエーション指導　阿部昌子氏

◇場所　区役所七階大会議室

◇申し込み先　区役所福祉課福祉係

◇締め切り日　十一月二十日（水）。ただし、定員百名になりしだい締め切ります。

婦人の教養講座

区教育委員会では、区内に住む婦人のために、毎年教養講座を開いていますが、ことしは、東京百年を記念して、「百年むかしの足立」の講演を行ないます。

日時＝十一月八日（金）午後一時～四時　会場＝区産業振興館公会堂　講師＝区立第四中学校長＝勝山準四郎氏。

このほか、アトラクションとして、日本舞踊（花柳秀舞踊会）を行ないます。お申し込み、問い合わせは、区教委社会教育課文化係へどうぞ。

趣味の教室へ

東部区民福祉センターでは次のような趣味と実益をかねた、各種の教室を開きます。お気軽にご参加ください。お申し込みは、直接、東部区民福祉センター事業係へ。電話六〇五―七一〇一

（なお、月曜日は休館日です）。

◇料理教室（中国料理）――十一月十三日（水）午後一時～三時　講師　増田幸永氏

◇生花教室（古流）――十一月二十六日（火）午前十時～十一時三十分　講師　岩佐マチ氏

◇詩の教室（現代詩の創作と鑑賞）――十一月十日（日）午前十時～十一時三十分　講師　牧野三郎氏（なるべく、作品をご持参ください）

◇絵画教室（野外デッサン）――十一月九日（土）午後一時　講師　神浦草夫氏（油絵または水彩用具をお持ちください）

◇折紙教室――十一月十七日（日）午後一時　講師　折紙研究家　河合豊彰氏

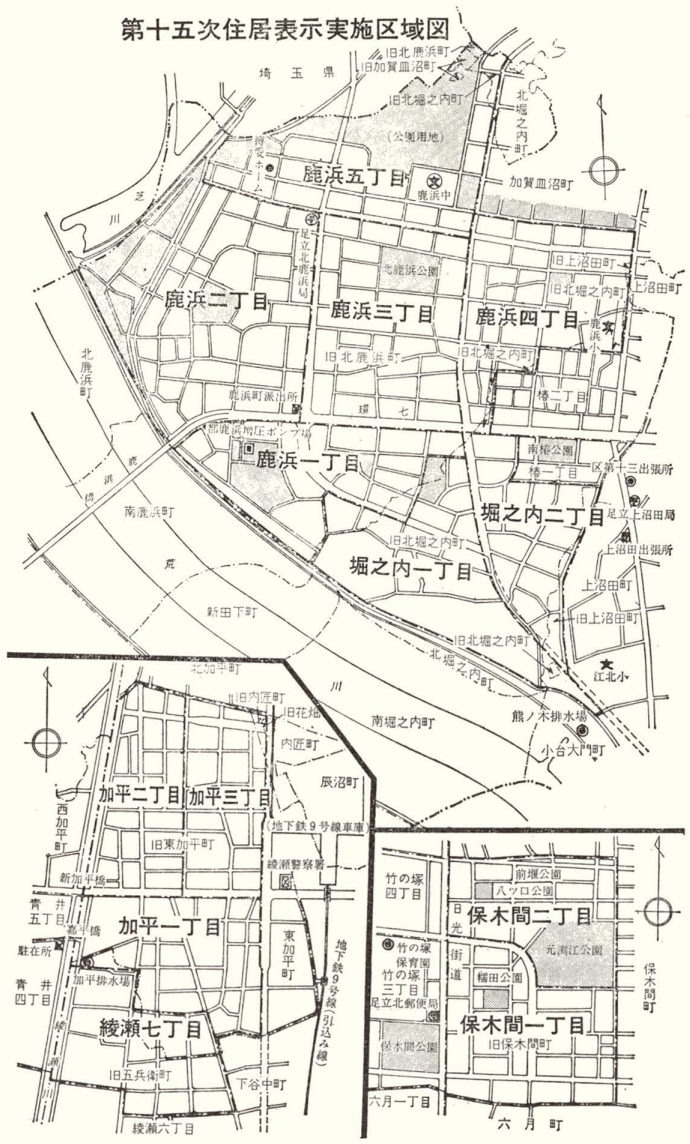
図書の貸出し中止

―梅島図書館―

区立梅島図書館は、来年四月開館が予定されている区立中央図書館に合併されることになりました。その移転作業準備のため、今月一日から図書の閲覧を中止しました。ただし、図書室は「勉強部屋」として当分の間提供していますから、ご利用ください。

梅島図書館は、区立図書館としては最初にできたもので、昭和二十五年九月開館以来、区民のみなさんにご利用していただいてきたものです。しかしながら、現在、急ピッチで建設の進められている中央図書館（梅田七丁目十三―一）が完成したときには、これに吸収合併されることになりましたので、新図書館が開館するまでの間、しばらくお待ちください。

梅島図書館の電話
八八六―二六〇四



火災予防運動始まる

11月26日～12月2日

これから冬の寒さに向かって、暖房器具をはじめ、火を使うことが多くなり、空気も乾燥して、火災が起こりやすい状態になってきます。消防庁では、この火災シーズンをひかえて、十一月二十六日～十二月二日までを「火災予防旬間」とし、区民のみなさんに防火意識を高めてもらおうと、その運動を展開します。

ことし一月一日から十月二十一日までに、区内で起きた火災の件数は、四百四十六件、焼けた面積六万七七九平方メートル、死者四名、損害総額は、二億七千九百七十万円にものぼっています。

火災は、地震に次いで恐しいもの。しかもその多くの原因は、個人の不注意によって起こるものです。そして、ひとたび火災が起きますと、自分の財産は一瞬にして灰になってしまい、その災いは他人にまで及びます。

そこで、消防庁では、次のことを特に気をつけるよう呼びかけています。

◎くらしの中に防火の習慣を

①出るとき、寝るとき、火の元をたしかめる。

②たばこは、灰皿のあるところで吸う。

③コンロ・ストーブなどのまわりは、いつもきれいにかたづけておく。

◎家庭の中に防火のくふう

①火を使う場所を燃えないようにする。

②火災を早くみつける器具をとりつける。

③防災家族（職場）会議を開き、ふだんの心構えなどを話し合う。

④すぐ逃げられるように、かんたんな避難の器材を用意しておく。

◎家庭と町に防火の体制

①ふだんから消火の準備をしておく。

②火災のときは、みんなに知らせ、みんなで協力しあう。

③防災家族（職場）会議を開き、ふだんの心構えなどを話し合う。

私道の下水敷設に
助成金がもらえます
千住・小台地区などは甲地区に

現在、東京都では、私道に排水（下水）の設備をしようとする場合に「助成金」を出していますが、このほど、区でも助成を行なうことが、先の区議会で決定されました。これは、区内の千住・小台・宮城そして新田地区に、公共下水道工事が進められ、完成後は、甲地区（水洗便所が使えるよう）になるためです。

下水道甲地区指定の現況
小台・宮城地区＝指定済
新田地区＝本年中に指定の予定
千住地区＝四十四年度中に指定の予定

この助成金を受けるには、次のような条件に全部あてはまることが必要です。

都の助成金を受けられる条件

①公共下水道が普及している区域で、甲地区（水洗便所をつけられる区域）の指定を受けている区域。

②排水設備をしようとする私道の幅が、一・八メートル（約二間）以上あり、長さが二〇メートル以上あること。

③都が定めた標準による排水設備であること。

④その排水設備に、下水を流そうとする家が十戸以上あり、各戸のくみとり便所をすぐ水洗式に改造すること。

◎甲地区となってから二年以内にこの助成金の交付申請を出すこと。

◎助成金の額は、標準工事費の二分の一（半額）です。

区の助成金を受けられる条件

①都の助成金の交付を受けることが決まったかた。

◎助成金の額は、都の助成金決定額の二分の一（半額）です。

この条件にかなった場合の助成金は、標準工事費の五〇パーセントは都から、二五パーセントは区からでることになり、合計七五パーセントが助成されるわけです。

申し込み先

都へは＝下水道局北部管理事務所助成係（荒川区荒川八丁目二五）電話八〇二一四六二一

区へは＝土木部河川課設計係

くわしくは、それぞれの係へおたずねください。

人命救助の中村一美さんら三百八十名が晴れて受賞

十一月三日の区表彰式で

十一月三日（日）「文化の日」、区役所七階大会議室で、昭和四十三年度の足立区表彰式が行なわれました。これは、尊い人命を救ったり、交通安全や消防活動、あるいは区内産業の発展のために、長い間活躍されてきたかたがたばかりで、三百八十名が晴れの表彰をお受けになりました。その功績とお名前は次のとおりです。（敬称略）

◎徳行者〈人命救助〉＝中村一美

◎自治功労者〈区職員三十年〉＝田中謙三郎　野口五郎　平野善助　長谷川堅治　緑川良信　片山茂明　清水清　高橋光治　石倉義雄　渡辺広吉　鈴木道勇　中沢正雄　中立〈区職員二十年〉＝梨沢行弘　田辺博　杉下幸義　士谷康男　長谷川慈本　福田直衛　丸山宏　下川洋和　村上健一　浅賀精作　勝五郎　逸見公市郎　茂出木慶三　金井敏夫　小金井政雄　小金井保　青木昭一　岡田米一　遠田重夫　茂出木栄　茂呂一衛　八木下竜次　夫　古沼仁男　小宮男太郎　斉藤比谷盛吉　平柳生次　持斉伊勢次　前川栄司　川村広郎　山本三郎　吉本嘉作〈西新井　種蔵　斉藤千勝　斉藤福蔵　斉藤福田金宗　藤波嘉平　古性定之助　嶋村賢成　中山栄二郎　岩村清　青木繁男　平八　坂田武男　坂田平男　坂田　古屋浜治　星野鈴吾　星野啓次　消防団〉＝会田善三郎　浅賀巌　阿出川幸雄　広　酒巻徳一　佐久間治　桜井　星野広　増田福次郎　堀口政吉　増田彦四郎　松永貞一　松本仁　池田朝信　石井喜八郎　石崎善一　俊蔵　清水孝一　清水稲三郎　下　松本初忠　石出吉蔵　石鍋実　石鍋務　市川鉄雄　白井秋次郎　杉本　間宮末蔵　水野喜一郎　見辺由治　川正男　伊藤鳥三　厳良誉　岩佐　鈴木真一郎　須藤半三郎　関屋正　村越康二　村山源蔵　持木利之　林義貞　浅賀静枝　加藤キヨ　小倉芳子　高橋志げの　杉本一江　和夫　岩田清太郎　岩橋文雄　植春　瀬田梅吉　瀬田健吉　瀬田正　矢野市蔵　白石ハツイ　渡部卯市　高橋隆蔵　木義忠　牛込潔　臼倉吉太郎　内成　高橋栄之助　高橋仙太郎　高　安田環蔵　矢部喜太郎　山崎邦郎　典義〈教職員〉＝石塚喜代　下　森田秀夫　矢作俊雄　矢作林蔵　川喜平　古川為六　古屋潔　吉田　藤威之　荒井聰一　増田正己　畠山了栄　村山皓　三好要市　中島清二　小室広業　平野徹人　堀田保　鈴木喜多子　中条鉄雄　松本参之助　白木久江　松野大　篠木崇　中村ひろ子　藤田俊一　後藤登子　河瀬徳子　儀間君江　佐藤きみ子　吉成道　加藤敏子　佐竹良昭　中山美江　星康夫　井上達子　田中静枝　塚田ミノル　土肥岩男　秋山啓子　西村　武夫　松村典子　堀内康三郎　樋口照子　及川百合子　森光代　真保京子　平沢とし子　南よね　鈴木十水　新谷勇　元島八　斉藤十三哉　篠原正芳　永年勤続〉＝小平昇　宏〈工業永年勤続〉＝小平昇　植松千枝　丸山い　内成　高橋栄之助　草　浅見　宝田一男　宝田武男　小宮長太郎　井上ふく　福田なか　榎本長寿　大池実　大塚　田口武蔵　田代米吉　立川年春　安藤喜美〈千住消防団〉＝相沢　辰五郎　大塚辰春　大塚弘一　小　玉木英雄　鶴見義孝　土肥潔　外　卯太郎　赤間一郎　有川三郎　石　川清吉　遠田平吉　金子芳雄　加　山秀之　鳥海由男　鳥塚優三　中　田中蔵　石山茂富　伊藤吉太郎　納昭治　河合平内　河内重男　川　沢義夫　中田正信　中村謙司　中　岩崎武靖　植竹義重　薄井正道　田孝三　川名正治　木嶋元春　木　仙市　中村長平　中村元雄　那　吉田隆　吉野誠寿　吉野誠三　吉　大川正　大里昭二　小野瀬嘉次郎　村耕蔵　木村正木　倉本忠治　倉　須栄蔵　那須三吉　那須龍治　西　横山忠光　横山千勝　吉岡芳次郎　雄　菱信一　小倉亨恵　大山正雄　嘉多村三朗　熊田栄　木義忠　牛込潔　臼倉吉太郎　内成　高橋栄之助　宝田一男　宝田武男　山崎鉄五郎　山崎利王　山崎彦吉　五十嵐喜久寿　古谷政雄　武井保　横田広一　横田松之助　横山賀一　山本英雄　山本男吉　横田大蔵　之助　磯野重郎　松田猛　西垣隆　徹　児玉東郎　小林康政　小松実　近藤嘉正　佐川照海　佐々木徳美

◎徳行者〈人命救助〉＝中村一美

◎自治功労者〈区職員三十年〉＝田中謙三郎　野口五郎　平野善助　長谷川堅治　緑川良信　片山茂明　清水清　高橋光治　石倉義雄　渡辺広吉　鈴木道勇　中沢正雄　中立〈区職員二十年〉＝梨沢行弘　田辺博　杉下幸義　士谷康男　長谷川慈本　福田直衛　丸山宏　下川洋和　村上健一　浅賀精作　勝五郎　逸見公市郎　茂出木慶三　金井敏夫　小金井政雄　小金井保　青木昭一　岡田米一　遠田重夫　茂出木栄　茂呂一衛　八木下竜次　夫　古沼仁男　小宮男太郎　斉藤比谷盛吉　平柳生次　持斉伊勢次　前川栄司　川村広郎　山本三郎　吉本嘉作〈西新井　種蔵　斉藤千勝　斉藤福蔵　斉藤福田金宗　藤波嘉平　古性定之助　嶋村賢成　中山栄二郎　岩村清　青木繁男　平八　坂田武男　坂田平男　坂田　古屋浜治　星野鈴吾　星野啓次　消防団〉＝会田善三郎　浅賀巌　阿出川幸雄　広　酒巻徳一　佐久間治　桜井　星野広　増田福次郎　堀口政吉　増田彦四郎　松永貞一　松本仁　池田朝信　石井喜八郎　石崎善一　俊蔵　清水孝一　清水稲三郎　下　松本初忠　石出吉蔵　石鍋実　石鍋務　市川鉄雄　白井秋次郎　杉本　間宮末蔵　水野喜一郎　見辺由治　川正男　伊藤鳥三　厳良誉　岩佐　鈴木真一郎　須藤半三郎　関屋正　村越康二　村山源蔵　持木利之　林義貞　浅賀静枝　加藤キヨ

◎教育功労者〈PTA〉＝大室徳一　安久　二の宮秀元　藤田幸三郎　前川昭念　松丸藤太郎

◎統計功労者＝伊野広一　鈴木安太郎　重　田村安次　三　清水勝政〈学校保健衛生〉＝荒木良二　伊沢彦次郎　大橋栄　一　鬼塚陽　川名衛　清原栄子　清原利夫　久保敬宏　小林功　千　村松新次　中西男枝　片山満　安　賢三郎　堀井セツ　小宮昭二　津　久井千代　豊田芳郎　花井トク　豊嶋タツ子　篠原長生　石原万千　夫　野地正記　浅香亀　町田義三　恵恭子　海老原一男　小林捷　天　野　松木和也　奥村芳子　茂木静子　荒井幸雄　今井扶美子　広瀬　萩原一郎　矢萩喜代治　吉木好　太郎　佐藤きみ子　後藤登子　河瀬徳子　儀間君江　吉成道　加藤敏子　佐竹良昭　中山美江　星康夫　井上達子　田中静枝　塚田ミノル　土肥岩男　秋山啓子　西村　武夫　松村典子　堀内康三郎　樋口照子　及川百合子　森光代　真保京子　平沢とし子　南よね　鈴木十水　新谷勇　元島八　斉藤十三哉　篠原正芳　永年勤続〉＝小平昇　宏〈工業永年勤続〉＝小平昇　植松千枝　丸山い　内成　高橋栄之助　草　浅見　宝田一男　宝田武男　小宮長太郎　井上ふく　福田なか　榎本長寿　大池実　大塚　田口武蔵　田代米吉　立川年春　安藤喜美〈千住消防団〉＝相沢　辰五郎　大塚辰春　大塚弘一　小　玉木英雄　鶴見義孝　土肥潔　外　卯太郎　赤間一郎　有川三郎　石　川清吉　遠田平吉　金子芳雄　加　山秀之　鳥海由男　鳥塚優三　中　田中蔵　石山茂富　伊藤吉太郎　納昭治　河合平内　河内重男　川　沢義夫　中田正信　中村謙司　中　岩崎武靖　植竹義重　薄井正道　田孝三　川名正治　木嶋元春　木　仙市　中村長平　中村元雄　那　吉田隆　吉野誠寿　吉野誠三　吉　大川正　大里昭二　小野瀬嘉次郎　村耕蔵　木村正木　倉本忠治　倉　須栄蔵　那須三吉　那須龍治　西　横山忠光　横山千勝　吉岡芳次郎　雄　菱信一　小倉亨恵　大山正雄　嘉多村三朗　熊田栄　木義忠　牛込潔　臼倉吉太郎　内成　高橋栄之助　宝田一男　宝田武男　山崎鉄五郎　山崎利王　山崎彦吉　五十嵐喜久寿　古谷政雄　武井保　横田広一　横田松之助　横山賀一　山本英雄　山本男吉　横田大蔵　之助　磯野重郎　松田猛　西垣隆　徹　児玉東郎　小林康政　小松実　近藤嘉正　佐川照海　佐々木徳美

◎自治功労者〈区職員三十年〉＝田中謙三郎　野口五郎　平野善助　長谷川堅治　緑川良信　片山茂明　清水清　高橋光治　石倉義雄　渡辺広吉　鈴木道勇　中沢正雄　中立〈区職員二十年〉＝梨沢行弘　田辺博　杉下幸義　士谷康男　長谷川慈本　福田直衛　丸山宏　下川洋和　村上健一　浅賀精作　勝五郎　逸見公市郎　茂出木慶三　金井敏夫　小金井政雄　小金井保　青木昭一　岡田米一　遠田重夫　茂出木栄　茂呂一衛　八木下竜次　夫　古沼仁男　小宮男太郎　斉藤比谷盛吉　平柳生次　持斉伊勢次　前川栄司　川村広郎　山本三郎　吉本嘉作〈西新井　種蔵　斉藤千勝　斉藤福蔵　斉藤福田金宗　藤波嘉平　古性定之助　嶋村賢成　中山栄二郎　岩村清　青木繁男　平八　坂田武男　坂田平男　坂田　古屋浜治　星野鈴吾　星野啓次　消防団〉＝会田善三郎　浅賀巌　阿出川幸雄　広　酒巻徳一　佐久間治　桜井　星野広　増田福次郎　堀口政吉　増田彦四郎　松永貞一　松本仁　池田朝信　石井喜八郎　石崎善一　俊蔵　清水孝一　清水稲三郎　下　松本初忠　石出吉蔵　石鍋実　石鍋務　市川鉄雄　白井秋次郎　杉本　間宮末蔵　水野喜一郎　見辺由治　川正男　伊藤鳥三　厳良誉　岩佐　鈴木真一郎　須藤半三郎　関屋正　村越康二　村山源蔵　持木利之　林義貞　浅賀静枝　加藤キヨ

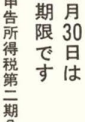
◎教育功労者〈PTA〉＝大室徳一　安久　二の宮秀元　藤田幸三郎　前川昭念　松丸藤太郎

◎統計功労者＝伊野広一　鈴木安太郎　重　田村安次　三　清水勝政〈学校保健衛生〉＝荒木良二　伊沢彦次郎　大橋栄　一　鬼塚陽　川名衛　清原栄子　清原利夫　久保敬宏　小林功　千　村松新次　中西男枝　片山満　安　賢三郎　堀井セツ　小宮昭二　津　久井千代　豊田芳郎　花井トク　豊嶋タツ子　篠原長生　石原万千　夫　野地正記　浅香亀　町田義三　恵恭子　海老原一男　小林捷　天　野　松木和也　奥村芳子　茂木静子　荒井幸雄　今井扶美子　広瀬　萩原一郎　矢萩喜代治　吉木好　太郎

◎社会教育功労者＝井上市三郎　大橋忠雄　柏原薫　鈴木一雄　鈴木金治郎　相馬金五　外山照　次郎　田村平八郎　長井武雄　萩原一郎　矢萩喜代治　吉木好

◎私学教育功労者〈教職員〉＝畠山了栄　村山皓　三好要市　中島清二　小室広業　平野徹人　堀田保　鈴木喜多子　中条鉄雄　松本参之助　白木久江　松野大

◎社会教育功労者＝井上市三郎　大橋忠雄　柏原薫　鈴木一雄　鈴木金治郎　相馬金五　外山照　次郎　田村平八郎　長井武雄　萩原一郎　矢萩喜代治　吉木好



登記の停止が解かれました

土地区画整理事業を実施中のところは、登記することが、一時停止されますが、次の場所は、それが解かれました。

▽九月三十日から＝綾瀬土地区画整理組合第一工区地区内

▽十月十五日から＝椿土地区画整理組合地区内

以上の地区内で、登記することができないでいたかたは、期日以後、お早めに登記を済ませてください。

登記の停止とは＝土地区画整理事業を行ないますと、その区画整理事業が完了して、登記の停止は解かれます。

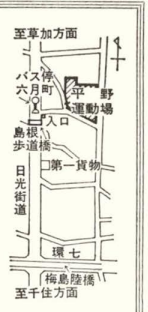
サッカーで心身を鍛えよう

サッカーで、あなたも心身を鍛えましょう。区教育委員会では、区民スポーツの振興を図るため、今回はサッカーの初心者向き講習会を開きます。ふるってご参加ください。

日時＝十一月十七日（日）午後一時～四時（雨天の場合は、別の日時。後日連絡）　場所＝都立足立高校（中央本町一丁目三一九、東武線五反野駅下車徒歩七分、都・東武バス東京駅＝草加間、弥生町下車）　対象＝区内在住・在勤の一般区民、区内小中学校生　定員＝百五十名（定員になりしだい締め切り）　講師＝区サッカー連盟会員　受講費＝無料　申し込み先＝区教委社会教育課体育係（内線五八八一九）　受講者全員に修了証書をさしあげます。

11月30日は納期限です

申告所得税第二期分
個人事業税第二期分



芝ふのある野球場
平野運動場をご利用ください

区では、区民のみなさんのために、より多くの運動施設を提供しようと努めていますが、このほど「平野運動場」を開設しました。

場所　平野二丁目十二一一

交通の便　都営・東武バス（東京駅＝草加間）六月町停留所下車徒歩三分

施設内容　野球場（二面）　テニスコート（三面）

利用料金　野球場＝平日二百円　土・日・祭日二百五十円　テニスコート＝百円。いずれも二時間単位。

申し込み先　区教育委員会社会教育課体育係

◎どしどし利用ください。

内職をしたいかたへ

都では、家事のあいまにできる簡単な仕事をお世話しています。ご希望のかたは、お近くの場所へお気軽にどうぞ。

▽足立授産場（本木東町十八一一）電話八八六一一六八三

▽西加平授産場（青井四丁目二一七一十一）電話八八九一〇六八一

▽千住簡易内職あっ旋所（千住柳町十六一一）八八一一五五四八

NHKのサービス窓口
千住寿町に新設

NHKの「千住営業所」ができました。テレビの映りぐあいをはじめ、放送に対するご意見、ご希望など、どんなことでもお気軽にご利用ご相談ください。

場所　足立区千住寿町五五、野村証券ビル（三階）　電話八八二一四三一一（NHK）

や形質（田・畑・山林・宅地などの地目）が変わってしまうため、それまでの権利を証明する登記簿と合わなくなってしまいます。これでは、個人の権利関係を正しく守れませんので、登記簿を現実に合ったものに書き換えるわけです。この作業を誤りなく行なうために、その区域の登記受け付けを一時ストップするものです。

◎祝電などの電話電報は10日前から受け付けています……電々公社